

(参考) 福田地区生活交通実験運行に係る経緯

時 期	内 容
令和元年 7 月	福田地区連合町内会長から市都市交通部へ生活交通導入に係る相談
令和元年 9 月	市政出前講座の開催
令和元年 11 月	出前講座の内容を踏まえ、生活交通導入に向け具体的に取り組むことを決定
令和 2 年 1 月	勉強会の開催
令和 2 年 3 月	アンケートの実施（潜在ニーズの把握）
令和 2 年 8 月	ワークショップ開催（移動ニーズの可視化）
令和 2 年 9 月	アンケート及びワークショップの結果を踏まえた、運行スキーム案を作成・経費計算
令和 2 年 12 月	事業者等の関係機関との協議に向けた実行委員会の立ち上げ 実行員委員会から地元タクシー事業者へ運行担い手の打診 （後日）地元タクシー事業者から正式に辞退の申し入れ
令和 3 年 1 月	広島県タクシー協会を通じ、運行事業者を募集→2 社からの応募
令和 3 年 4 月	地元協議会発足、地元案を 2 社に提示
令和 3 年 7 月	地元案をベースに 2 社からの提案
令和 3 年 8 月	地元協議会において 1 社（つばめ交通）をパートナーに決定
令和 3 年 11 月	実験運行に係るダイヤ等の決定に向けたアンケートの実施
令和 3 年 12 月	試走会の実施 乗降ポイントに係る地先民地及び民間施設との調整
令和 4 年 1 月	広島市地域公共交通会議※開催（福田地区実験運行について等）
令和 4 年 4 月	実験運行開始

※乗合運送の形態やサービス水準等について、地域の実情を加味したうえで、具体的な協議を行う会議で、学識経験者、一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体、住民又は利用者の代表、運輸局、一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体、該当地域を管轄する交通管理者、道路管理者、広島市で構成。